社会福祉法人そよかぜの丘
２０２２年度事業計画

2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

～　目　　次　～

社会福祉法人そよかぜの丘　２０２２年度事業計画

□　事業計画策定にあたって　2

□　重点方針　2

□　重点施策　3

□ 各事業の計画　4

1　港南中央地域活動ホームそよかぜの家　4

2　グループホーム事業　5

3　横浜市日野南地域ケアプラザ・そよかぜ南の家　6

4　キララそよかぜ　7

5　あ～す そよかぜ　7

6　障害者後見的支援室　すまいる港南　7

資　　料

□資料１ 社会福祉法人そよかぜの丘 ２０２２年度年間計画 ８

□資料２ ２０２２年度そよかぜの丘職員研修計画　１１

□資料３ 中期５ヶ年運営計画(２０１８年４月～２０２３年３月)　１２

事業計画策定にあたって

コロナ禍で当法人の運営は、例外なく様々な制約を受けている状況にあります。今年度はこの経験を活かして引き続き感染対策を徹底し、利用者が安心してサービスを受けられるように、利用者・ご家族・地域の方々・関係機関等と連携を図り、工夫を凝らして安全第一の支援・運営に努めてまいります。

重大事故防止については、外部研修の積極的な受講や「事故防止対策委員会」等のこれまでの取り組みを発展・継続し、事故防止策の更なる定着を図ってまいります。

２００１年の社会福祉法人「そよかぜの丘」設立から２０年が経過し、また法人が運営する最初の施設である「港南中央地域活動ホームそよかぜの家」は、今年開所２０年を迎えます。こうした節目の年にあたり、年月の重みをしっかりと認識して、次の飛躍に向けて、利用者サービスの一層の充実と安定した運営に努めてまいります。

重点方針

次の５つを重点方針として、具体的な施策に取り組んでまいります。

Ⅰ　サービスの充実を図ります

Ⅱ　地域福祉の推進を行います

Ⅲ　人材育成のための環境整備を行います

Ⅳ　運営基盤の安定に向けた取り組みの推進をします

Ⅴ　利用者の安心・安全な支援の徹底を図ります

【２０１８年度～２０２２年度の中期５ヶ年運営計画に基づき策定された重点方針です】

重点施策

１　利用者サービスの充実を図ります。

（１）コロナ禍で不安を感じている利用者・家族が、安心して通所が出来るよう感染予防に全力で取り組み、安全な支援に努めます。
（２）利用者の「意思決定支援」を関係機関と連携し進めます。また利用者の高齢化への適切な対応を図ります。
（３）地域の関係機関との連携による「地域生活支援拠点」のネットワーク機能を強化し、障害のある方が地域で安心して生活が出来るよう取り組んでいきます。

２　地域福祉の推進を行います。

（１）地域で開催される様々な活動に参加し、ニーズ把握に努め、関係機関と連携し、課題解決に繋がる事業の展開に努めていきます。
（２）身近な福祉・保健の活動拠点としての機能を活かし、地域の方々と顔の見える関係づくり進め、ニーズに添った暮らしの実現に取り組んでいきます。
（３）コロナ対策を念頭に法人の運営する施設の活用等により、地域福祉の推進に努めます。

３　人材育成のため環境整備を図ります。

（１）良いサービスを提供するには人材の育成が重要です。コロナ禍で大人数での研修は開催が難しいですが、オンライン研修や職場毎の小規模グループの伝達研修など工夫を凝らして職員のスキルアップを図ります。
（２）目標管理制度に基づく人事考課に対する職員の意識が高まり、意欲や資質の向上に繋がるよう取り組みます。

４　運営基盤の安定に向けた取り組みの推進を図ります。

（１）コンプライアンスの徹底と共に、安定した財務基盤を確立するため各事業の運営状況を管理職会議・予算委員会等で検討し、改善に努めていきます。
（２）法人策定の災害時行動指針による「事業継続計画（ＢＣＰ）」の浸透を図るなど「安心・安全な運営」に取り組んでいきます。

５　利用者の安心・安全な支援の徹底を図ります。

（１）事故防止対策委員会の活動や危機管理の研修を進め、重大事故を決して風化させることなく安全な支援の浸透を図ります。
（２）職員一人ひとりが基本理念に基づく責任を自覚し、高い倫理観を持って安心安全な支援に努めてまいります。

各事業の計画

１．　港南中央地域活動ホーム　そよかぜの家

（１）　港南区基幹相談支援センター［横浜市委託事業］

・ 障害のある方の高齢化に伴う様々な課題に関係機関が連携して対応できるよう、区内の相談支援体制の強化に努めます。
・ 地域課題を適時抽出し、検討できるよう自立支援協議会の編成を見直し、活性化を図ります。
・ 地域生活支援拠点のネットワーク強化に向けて、当事者と地域のつながり作りに取り組みます。

（２）　指定特定相談支援事業／指定障害児相談支援事業

・ 利用者のニーズを丁寧に把握し、適切なサービスが提供できるよう関係機関と連携しながらサービスの調整を行います。本人中心の支援ができるよう意思決定支援を進めていきます。
・ 自立支援協議会の相談支援部会や外部研修等に参加し、個別事例の課題解決や相談支援専門員のスキルアップに努めます。

（３）　障害者自立生活アシスタント事業［横浜市委託事業］／自立生活援助事業

・ 利用者が自分で考えて決める「意思決定」を基本にし、利用者自身が自分の行動に責任を持てるようにしていきます。
・ 自立生活アシスタントの役割を活かしたチームアプローチを行います。
・ 自立生活アシスタントの機能を活かし、適切なアウトリーチ支援が提供できるよう資質の向上に努めます。

（４）　日中活動支援事業［生活介護事業・地域活動支援センター事業デイサービス型］

・ 新型コロナウィルス感染症については、引き続き感染予防と感染拡大させない活動の工夫に力を入れていきます。
・ 職員のスキルアップを目的とし、外部研修に参加した内容を伝達研修として職員全体で共有し、充実した活動を提供できるようにします。
・ 利用者、家族ともに高齢化が進む中で、将来を見据えた支援を行えるよう、引き続き関係機関と連携を取っていきます。
・ 毎月の職員ミーティングでヒヤリハット及び改善点の共有を図り、危険予知・事故防止への意識を高めていきます。また定期的に防災訓練を行い、特に車椅子の方の階下への移動がスムーズにできるよう訓練します。

（５）　生活支援事業

（ア）一時ケア・ショートステイ

・ 新型コロナウィルス感染症予防として消毒や換気を行うと共に、他機関や家族と情報共有を行い、利用の調整や過ごしを工夫し、安全に受入れをしていきます。
・ 事故防止対策に重点を置き、マニュアルの共有、見直しを図り、職員の知識や技術の向上や安全に配慮した環境設定を行っていきます。
・ ミスヒヤリハットについて、ミーティング等で解決策の共有や改善提案を具体化し、事故を未然に防ぐ意識、構造の強化を行います。

（イ）余暇活動支援

・ 感染予防等の工夫をし、楽しんでいただけるプログラムの提供を行います。余暇活動を通して、仲間づくりや様々な人が交流することで、社会参加に繋がるプログラムの提供を行います。
・ 余暇活動支援アンケートを配布し、利用者やご家族の意見・要望を収集し、利用者それぞれが楽しめる余暇の場を提供できるようにしていきます。
・ 余暇プログラムについて、他の地域活動ホームとの意見交換や情報共有を行うと共に、地域資源の有効活用や、ボランティアや地域の方の協力をいただき、プログラムの充実に努めていきます。

（ウ）おもちゃ文庫

・ 近隣区のおもちゃ文庫との情報共有に努め、安心して快適に利用いただけるおもちゃ文庫を目指していきます。
・ 相談支援事業と連携し、おもちゃ文庫を利用される家族の障害児の子育てに対する不安を解消できるよう努めていきます。
・ ご意見箱を活用し、利用者のニーズに沿った「おもちゃ」を導入していきます。

（６）　地域交流事業

・ 広報「風のおくりもの」第４０号及び法人設立２０周年記念誌を発行します。
・ 「そよかぜふれあいまつり」は、コロナ禍で開催が困難と想定されますが、昨年度の実績を参考に時期や規模について実行委員の方々と検討していきます。
・ 地域で開催される行事については、規模にとらわれることなく参加し、交流を深めてまいります。

２．グループホーム（ｸﾞﾘｰﾝﾋﾙｽﾞ・ｻﾝﾌｨｰﾙﾄﾞⅠ・Ⅱ・ﾌｫﾚｽﾀ・ｾﾝﾄｱﾍﾞﾆｭｰⅠ・Ⅱ）

共同生活援助事業

・ コロナ禍での入居者の状態に合わせてサービス提供が継続できるよう生活環境を整えます。
・ ミーティングや研修を通して常勤職員・非常勤職員それぞれが危機管理に対する意識を高め、より安心して生活していただけるように努めます。

３．横浜市日野南地域ケアプラザ・そよかぜ南の家

（１）　地域包括支援センター〔横浜市委託事業〕

・ ３職種が連携して、様々な相談に丁寧に対応し、本人・家族のニーズに寄り添いながら、必要な機関に繋げていきます。
・ 出張講座や自主事業を通して、地域の方々と顔の見える関係づくりを進め、地域包括支援センターの周知をしていきます。
・ 多問題ケースに対応できるよう研修等を受講し、職員のスキルアップを図ります。

（２）　地域活動・交流事業〔横浜市委託事業〕

・ 誰もが自分の住む地域で安心して暮らせるよう、関係機関や社会資源へと繋げ、地域の課題解決に向けた地域ネットワークづくりの支援に努めます。
・ 多様なツールを活用したケアプラザの周知、情報提供や発信により、幅広い世代が地域福祉や地域活動に関心を持ち、活動できる場づくりと自分らしい暮らしにつながる事業の展開を図ります。
・ 第４期地区別地域福祉保健計画に則り、地域住民、関係機関と意見交換・情報共有を行い、地域づくりの推進に取り組みます。

（３）　生活支援体制整備事業〔横浜市委託事業〕

・ 地域の活動に積極的に参加し、ニーズ把握に努め、関係機関と連携し、地域主体で取り組めるよう支援します。
・ 高齢者の方々が安心して暮らし続けられるように、憩いの場や送迎問題などに着目した協議の場を作ります。
・ 見守り協力事業所や介護事業所等と連携し、地域のニーズに合った社会貢献ができるように橋渡しを行います。

（４）　居宅介護支援事業

・ 利用者、家族と信頼関係を深め、ニーズを的確に把握し、より良いプランを作成します。
・ インフォーマルサービスとの協働、関連事業との連携強化に努めます。
・ 研修に積極的に参加し、内部で勉強会を行って、情報共有の他、制度理解を深め、技術の向上に努めます。

（５）　日中活動支援事業［生活介護事業・就労継続支援Ｂ型事業］

・ 利用者と家族、地域、関係機関との信頼関係の構築・連携に努めます。利用者を支える様々な社会資源や関係者との積極的な連携を通じて、提供するサービスの質の向上に繋げます。
・ 利用者が安心し、やりがいをもって意欲的に活動できるプログラムを提供します。そのために、ＯＪＴ（現場教育）・ＯＦＦ－ＪＴ（外部研修）・ＳＤＳ（自己啓発への援助）・日々のミーティングを通じて、職員の支援力アップを図ります。
・ 就労活動では、新たな作業の開拓や製品販路の拡大に努めていきます。
・ 事故防止のための取組みを行います。日々のヒヤリハット抽出・共有・検証・実践、内部勉強会、避難訓練を実施します。

４．キララそよかぜ

生活介護事業

・利用者の経験や体験を増やし、必要な理解を深め、意思決定につながる支援を行います。
・近隣の公園清掃を行い地域の方との関わりを深めていきます。
・職員の危険予知・事故防止に向けた訓練を行います。
・施設内の会議で研修を取り入れ支援の向上に努めます。また関連施設や関係機関と連携を図り多面的な視点で支援を行います。

５．あ～す そよかぜ

生活介護事業

・利用者の障害特性に配慮した支援を実施し、意欲的に活動に参加ができるようにします。
・利用者や家族、関係機関、事業所と情報共有を図り、関係機関と連携しながら多角的な視点での支援を目指します。
・施設周辺やバス停留所などの清掃作業を行い、地域貢献に努めていきます。
・職員一人ひとりが、よりスキルアップするため積極的に研修に参加します。

６．障害者後見的支援室　すまいる港南

横浜市障害者後見的支援事業［横浜市委託事業］

・登録者、家族との面談や訪問等を通して良好な関係を築き、安定した支援をしていきます。
・地域の団体等と連携を密にし、必要な方に利用が繋がるようにしていきます。
・地域の立場から緩やかに日常生活を見守る「あんしんキーパー」の開拓に取り組み、協力や登録を呼びかけます。
・登録者・家族に成年後見制度等の情報提供を行います。職員は、研修等で知識を深め、より一層のスキルアップに努めていきます。

社会福祉法人　そよかぜの丘　２０２２年度　年間計画

資料１－１

月	法　人　全　体	港南中央地域活動ホーム　そよかぜの家 地域活動拠点
４月	**辞令交付式** 新人職員研修 各委託事業契約・第１四半期請求 ２０２１年度事業報告・決算書作成	日中:利用者三者面談
５月	消防設備点検 監事監査 理事会 賛助会総会	日中：そよかぜふれあいまつり（未定） そよかぜの家運営委員会 自立協：代表者会議（仮） 生活：夜間防災訓練
６月	評議員会 中旬：第２四半期請求	自立協：第１回全体会(仮)
７月		生活：夏余暇オリエンテーション 生活：夏休み余暇活動支援開始
８月	広報「風のおくりもの」発行	生活：夏休み余暇活動支援
９月	上半期事業報告・会計報告作成 第３四半期請求	日中：健康診断
１０月		赤い羽根共同募金 日中：利用者三者面談 そよかぜの家運営委員会 日中：ボランティアフェスティバル 日中・生活：港南区ふれあいスポーツ大会
１１月	消防設備点検 理事会	***1(木)そよかぜの家開所記念日*** 日中：相武山地域フェスティバル こうなん子どもゆめワールド ５施設合同防災訓練 自立協：第２回全体会(仮)
１２月	上旬：賛助会クリスマス会 第４四半期請求 法人設立２０周年記念誌発行	日中：クリスマス会 ***１２／２９～１／３年末年始休み***
１月	年始の会 各賀詞交換会参加	年始の会　半日終了 日中：中学校職業体験受け入れ 日中・生活：笹下中学校職業講和
２月	事業計画・予算書作成 補正予算案作成	日中：節分 日中：次年度に向けたアンケート実施 自立協：第３回全体会（仮）
３月	理事会	生活支援：夜間防災訓練 そよかぜの家運営委員会
その他	・毎２木曜：運営会議 ・第４木曜：月次報告会 管理職会議 ・毎月１回：産業医来訪 ・毎月１回：衛生委員会 ・専門スタッフ会議 ・毎月１回：嘱託医来訪 ・各種委員会開催 ・苦情解決委員会 ・研修推進委員会 ・危機管理委員会（防災・防犯対策） ・虐待防止委員会 ・事故防止対策委員会 ・給食委員会 ・健康推進委員会 ・地域交流委員会 ・予算管理委員会 ・賛助会事務局	【日中】 ・第三者委員来訪（不定期） ・プチ防災訓練 ・出張美容室 ・嘱託医来訪 ・家族懇談会 ・職員ミーティング ・備品機器点検 ・送迎、各グループミーティング 【生活支援】 ・そよかぜキッズ（おもちゃ文庫工作余暇） ・翌々月SS・一時ケア　申込み受付開始（１月は４日～） ・生活支援ミーティング ・備品機器点検 ・各種委員会

社会福祉法人　そよかぜの丘　２０２２年度　年間計画

資料１－２

月	キララそよかぜ	あ～す そよかぜ	グリーンヒルズそよかぜ
	日中活動支援事業	日中活動支援事業	共同生活援助事業
４月	利用者三者面談	利用者三者面談	１日：グリーンヒルズそよかぜ　開所記念日 利用者三者面談 ※希望者のみ
５月			１日：サンフィールドそよかぜ一・二番館開所記念日
６月			
７月	七夕	七夕	1日:セントアベニューそよかぜ一番館開所記念日
８月	田中町内会祭り		
９月	健康診断 町内会防災訓練	健康診断	
１０月	赤い羽根共同募金 防災訓練 利用者三者面談 横浜ラポール芸術市場美術の部　アート作品展示 （状況により中止）	赤い羽根共同募金 利用者三者面談	1日:セントアベニューそよかぜ二番館開所記念日 利用者三者面談
１１月	***1キララそよかぜ　開所記念日（9年目）***		
１２月	障害者週間　こすもすショップ販売 お疲れ様会 ***１２／２９～１／３　年末年始休み***	障害者週間キャンペーン ***１２／２９～１／３　年末年始休み***	忘年会　（社会情勢により中止）
１月	4日（月）年始の会　半日終了 地区防災訓練	4日（月）年始の会　半日終了 こうなんひまわりアート展	
２月	節分（豆まき） 次年度アンケート配布	節分 次年度アンケート配布	
３月	ひな祭り	ひな祭り	１日：フォレスタそよかぜ開所記念日
その他	・職員会議 ・家族懇談会（状況により中止） ・嘱託協力医来訪 ・第三者委員来訪（状況により中止） ・防災訓練 ・第３水曜日木曜日：磯子区こすもすショップ販売 ・各種委員会	・家族懇談会 ・年２回：防災訓練 ・各種委員会	・職員ミーティング ・家族懇談会 ・防災訓練 ・各種委員会

社会福祉法人　そよかぜの丘　２０２２年度　年間計画

資料1－3

月	横浜市日野南地域ケアプラザ・そよかぜ南の家				
	全　体	地域包括支援センター事業	地域活動交流事業	生活支援体制整備事業	そよかぜ南の家
４月	四半期(１～３月)事業実施報告				利用者三者面談 合同家族懇談会 内部勉強会
５月	港南区自立協代表者会議	介護保険＆エンディングノート 理想の老後生活とその準備 民生ケアマネ懇談会		介護事業所連絡会	内部勉強会
６月	PDCAシート（計画・収支予算書）	シルバープランニング講座	親と子ののびのびタイム		内部勉強会
７月	四半期(４～６月)事業実施報告 防災訓練・防災設備点検	シルバープランニング講座 健康づくりいろは塾2022 地域活動支援事業（いずみの会）			内部勉強会
８月	***８月１日　日野南地域ケアプラザ開所記念日***				
	みなみ・夏・まつり２０２２	記憶について講座 地域ケア会議		介護事業所連絡会	内部勉強会
９月		急な入院＆上手な医者へのかかり方	親と子ののびのびタイム		健康診断
１０月	第1回運営協議会 四半期(7～9月)事業実施報告 防災訓練・防災設備点検 拠点防災訓練参加	認知症の方の家族対応	子育てまなび隊☆はぐはぐ	日野地区運動会 スポーツフェスタ（日野南地区）	利用者三者面談 赤い羽根共同募金街頭活動 内部勉強会
１１月		日野連合チャリティーバザー（出張相談） JA農業まつり（出張相談） ウォーキング講座 有料老人ホームの選び方 民生ケアマネ懇談会	子育てまなび隊☆はぐはぐ	介護事業所連絡会	こうなん子どもゆめワールド 内部勉強会
１２月	PDCAシート（振り返り）	ウォーキング講座	みんなの作品展 親と子ののびのびタイム	icoccaサービスB来年度申請	障害者週間街頭活動 利用者納会（年末お楽しみ会） 内部勉強会
	１２月２９日～１月３日　年末年始休み				
１月	四半期(10～12月)事業実施報告 PDCAシート（区ヒヤリング）	地域ケア会議 男の健康づくり	ボランティア交流会		年始の会　半日終了 内部勉強会
２月	AED/救命救急研修			介護事業所連絡会	節分行事(豆まき) 次年度に向けたアンケート 内部勉強会
３月	第2回運営協議会		親と子ののびのびタイム		内部勉強会
その他	・日野連合定例会 ・日野南連合定例会(12・8月除) ・日野／日野南地区地域づくり意見交換会 ・日野／日野南地区拠点防災訓練 ・福祉避難所情報伝達訓練 ・各種委員会	・おひとりさまカフェ（包括自主事業） ・協力医地域向け相談会 ・日野地区民児協定例会 ・日野南地区民児協定例会 ・元気づくりステーション ひだまりの会 ・元気づくりステーション ３Ａ「そよかぜの会」 ・元気づくりステーション 筋トレ日野すまいる ・認知症家族の会 ・日野町内会館開放日（出張相談　8月除） ・金井町内会館開放日（出張相談　12･1･2月除） ・区カンファ ・各種委員会	・広報みなみのかぜ発行 ・子育て広場 ・うたごえサロン「日野南ハーモニー」 ・赤ちゃん教室 ・うたごえサロン「つばさ会」 ・トマトクラブ ・ハッピーうたの会 ・折り紙サークル「あいの会」 ・港南ケアプラキッズ ・障がい者認知症予防教室「ロールケーキの会」　・障がい児のための親子サークル「めばえ」 ・スマホの操作基本のキ ・歴史講話とまちあるき ・つながり事業 ・各種委員会	・金井幼稚園コミュニティカフェ ・日野地区社協定例会 ・日野地区民児協定例会 ・日野南地区民児協定例会 ・おしゃべりくらぶ ・シルバー喫茶「コスモス」 ・「こぶし」グランドゴルフ ・見守り事業所訪問 ・各種委員会	・利用者自治会 ・家族懇談会 ・防災訓練 ・嘱託医来訪 ・部門ミーティング ・各種委員会

2022年度　社会福祉法人そよかぜの丘　職員研修

法人の人材育成研修の土台となるのが「法人共通研修」です。
　法人職員として共通に理解し習得すべき研修として、組織力を高めるための
「組織（階層）研修」と専門性を高める「専門研修」により更に知識、技能を高めていきます。

分野（テーマ）		
法人研修・専門研修	職種研修	業種・職種ごとの専門知識・技能 （支援員、看護師、事務、他）
	専門共通研修	法人理念と法人のあり方 権利擁護・行動指針
		<リスクマネジメントの理解と実践> 苦情対応・セクシャルハラスメント 事故の予防と対応・個人情報保護 情報セキュリティ・感染症等対策 安全運転講習・救急救命講習 虐待防止 災害時BCP・感染症BCP
法人共通・組織研修	新人（初級） （1～2年目）	Ⅰ.1年目（新人ＯＪＴ含む） Ⅱ.2年目
	中堅層 （3年目以上）	職業人・組織人としての自覚 法人理解を深める 組織的な問題解決能力の向上 後輩等への育成指針 職場でのリーダーシップ
	主任	組織調整能力 法人方針に沿った課題発見と行動 リーダーシップ・コーチング 広い視野に立った業務遂行
	課長	組織管理業務の習得 業務標準化の管理 内部職員研修計画の策定と運営
	施設長 所長	管理者としての知識技能の習得 総合的判断力、戦略形成力 地域福祉の推進力
	非常勤	法人の理解 接遇、その他

社会福祉法人そよかぜの丘
中期5ヶ年運営計画
（2018年4月～2023年3月）

基本理念

地域に暮らす一人ひとりが、住み慣れた環境の中で、その人らしい普通の暮らしを安心して送れるように支援する。

運営ビジョン(5ヶ年)

★そよかぜの丘は地域に暮らす障がい児者 のある方のライフステージに沿った支援と高齢者の安心安定した生活のための支援を行います★

＊子どもから高齢者まで、障がいのある方もない方も共に健康で豊かな生活が送れる楽しい場を提供します。

＊地域の中で障がいのある方や高齢者が孤立しないように住民との橋渡しを行います。

＊地域拠点としての役割を果たすための人材育成に力を入れて専門性を高めます。

＊堅実な運営が行える仕組みを確立し、運営基盤の安定化に取り組みます。

重点施策	具体的施策
1.サービスの充実	（1）利用者のエンパワメントを活かした支援による主体的な生活の実現を図ります。 （2）インフォームドコンセントに基づく個別支援によるサービスの質の向上を目指します。 （3）基幹相談支援センターに地域生活支援拠点機能を整備します。
2.地域福祉を推進	（1）地域の事業所など多様な社会資源と連携を密にして、法人の機能を活かし地域の方々の福祉と生活向上に努めます。 （2）地域貢献を目指した活動を地域の方々のご意見をいただきながら取り組んで行きます。
3.人材育成のための環境整備	（1）スキルアップを図るため、職員それぞれの立場、役割、求められる資質に着目した研修の機会を設定します。 （2）スーパービジョンを念頭に目標管理制度に基 づく人事考課を実施します。 （3）職員がライフステージに沿って,より働き易い 職場づくりを進めます。
4.運営基盤の安定に向けた取り組み	（1）法令遵守（コンプライアンス）の徹底を図るため、規程の遵守・管理体制の整備・定められたマニュアルの整備・周知徹底を図ります。 （2）安定した財務基盤の確率を図るため、事業毎の健全な運営に務める共に新規事業の展開を進めます。 （3）危機管理体制と施設管理の強化を図り「安心安全な施設」を目指します。
5.利用者の安心・安全な支援の徹底を図ります。	（1）安全に係る各種マニュアル等を総点検し、その成果を職員が共有し安全な支援に努めます。 （2）職員一人ひとりが社会的役割を自覚し高い倫理観を持って、安心安全な運営に努めます。